ROTARY CLUB OF FUJIMI
富士見ロータリークラブ週報

NO1583
2014－10－3発行

第1926回 例会 26年 9月 26日（金）
【卓話：石山昱夫先生】

2014～2015年度
国際ロータリー会長 ゲイリーC. K. ホアン
第2570地区 ガバナー坂本元彦

【会　長】 栗原　平
【副会長】 下山定夫
【幹　事】 柳田政男
【ＳＡＡ】 山口　勇

【点　鐘】　会長　栗原　平会員
【斉　唱】　ロータリーソング「我等の生業」
【ゲスト】
元東大教授・帝京大名誉教授（法医学）
石山昱夫先生

【会長の時間】　会長　栗原　平会員

今日の卓話には今年度、私の会長としての最大のイベントの一つとして、元東大教授・帝京大学名誉教授（法医学）の石山昱夫先生をお迎え致しました。

石山先生は川越市出身です。私は、大学３年時の法医学の授業から始まり現在にいたるまでの４０年以上に渡り、ご指導を頂いております。私が今、富士見ロータリークラブの会長を務めさせていただけるのも大学院生時代四年間の研究の仕方のみならず、物事への取り組み方を厳しく有意義に指導して頂いたことによるものと深く感謝しております。

この四年間に私の人格・性格が鍛えられたと思っております。

石山先生は法医学を専門として裁判に必要な鑑定書をたくさん書かれております。今日は法医学における“真実の探求”についてというテーマでご講演して頂きます。“真実の探求”については我々ロータリアンの信条。四つのテストの“真実かどうか？”と合い通じるものがあると思います。法医学的に法医鑑定において、如何に“真実を探求法”しているかを説明して頂けるものと思います。

【幹事報告】幹事　柳田政男会員

1）例会変更の件
1．当クラブ→
　１０月１７日(金)→同日　消防署見学
　１０月２４日(金)→変更１０月２５日（土）
　ふるさと祭りに参加＊出・欠席の回覧をします
2）次の書類を回覧します。
　1．中井年度表彰関係
　2．派遣学生８月・９月次報告書
　3．ＲＬＩ　９月２８日開催
　　出席者　柳田・山城・竹内会員）
　4．１０月１０日（金）の例会プログラム
　　卓話　米山奨学生アディナ　アマイテさん
　　（女、中国、東京電気大学、所沢ＲＣ）
　5．本日、石山先生の卓話の要旨は会員の皆様に配布
　6．本庄ＲＣから９月１１日ガバナー公式訪問の会報
3）例会終了後、役員会を開催

【委員長報告】
○社会奉仕委員会→副委員長　尾崎　功会員

日時８月３０日（土）奉仕３部門セミナー
（職奉・社奉・国奉）
分科会
＊社会奉仕部門　リーダー加藤玄静様
各クラブで行っている社会奉仕活動を地区では応援する。公共イメージアップは奉仕活動を活字だけでなく写真を付けて送る。地区のホームページに掲載。ロータリーの希望の風基金も継続。現在登録している学生１８０名。

＊アイバンク委員会
眼科の先生が説明されました。
献眼の登録をお願いします。死後７～１０時間位眼球は生きているそうです。
＊世界遺産登録委員会
世界遺産は不動産とか、場所、歴史的建造物
文化遺産は文化や芸術等・さきたま古墳・秩父夜祭り・川越祭りの屋台等、合わせて登録するよう準備をしている。
＊ブライダル委員会
今年度は屋内でのパーティーを、屋外でバーベキュー等、年２回位実施したい。
ロータリーの家族やその知り合いであるので、非常に安心と好評です。
＊終わりに加藤パストガバナーより総評
何もしないでいるよりもロータリーに入会して奉仕活動が出来ること最大の幸せであること等々
クラブを通してロータリアンとして社会奉仕活動をしてほしい、地域社会で人々と手に手をとって外の団体と共同で奉仕活動を行ってほしいと強調しておりました。

○４０周年記念実行委員長
→委員長　下山定夫会員

過日、４０周年記念事業委員会を山喜で開催、致しました。
当クラブとしては富士見市に５０万円を寄付することになりました。今度の理事会で承認を頂きます。又、特別会費として、お一人３万円とさせていただきました。
来月から集金をさせて頂きますのでご協力をお願い致します。

○広報委員会→委員長　秋元伸一郎会員

松本仙太郎会員さんのご協力でつるせ西だより第９６号に「まちの話題」として「大きな時計が見えます」が掲載されています。大きな古時計という歌があります。何年位たつと古時計と言うのかわかりませんが、鶴瀬駅西口広場には、富士見ＲＣ寄贈により昭和５５年５月２３日に設置された時計があります。富士見市の成り立ちである、旧鶴瀬村・南畑村・水谷村三合併の意味を込めた三本の脚でがっちりと時計を支えています。いろいろな感慨を抱いたであろう「あの時計」が鶴瀬駅西口土地区画整理事業により間もなく消えることになりました。

【出席報告】委員長　平岡直也会員

会員数	４９名
本日出席	３５名
出席免除会員	６名
出席率	８１．４％
前回メーキャップ	１名
前回修正出席率	７９．５％

【ニコニコＢＯＸ】萩原喜八郎会員

栗原　平会長
　石山昱夫先生、今日は、ようこそおいで下さいました。
横田（栄）、横田（正）、阿部、斎藤（英）会員
下山、野﨑、山口会員
　石山**昱夫**先生、本日は宜しくお願い致します。
島田敏郎会員
　鶴瀬駅西口の整備工事を請け負わせて頂く事になりました。工事期間中ご迷惑をおかけすると思いますが、皆様のご協力も宜しくお願い致します
　斎藤（重）、小椋、松本（伸）会員
　前回欠席しました。
酒本俊司会員
　早退致します。

【卓　　話】

元東大教授・帝京大名誉教授（法医学）

石山昱夫先生

要旨

因果関係の認定について、結果のみから原因を追究することは極めて困難な場合が多い「真実の探求」を信条としているマスコミの世界においても、今回の朝日新聞の誤報に見られるように、はたして報道内容にどこまで責任を持って追求しているのか疑わしい場合が多いし、それに対する批判に対しても無視してしまうようなことが一般的である。こういった点について、最も客観的に結果から原因の追求を厳密に捉えなければならないのは刑事事件を取り扱っている裁判審理であろう

例えば殺人事件において、警察や検察の捜査内容からの告発と、被告を弁護する側である弁護人の主張が全く異なっている場合には、死体の検視や解剖を実施し、それに基づいて鑑定を実施した医師の証言は極めて重要でり、その可否が裁判の最重要点になることが多いので、裁判所が再鑑定を求める場合が多いし、警察や検察も鑑定が疑わしい場合には、積極的に再鑑定を求めるようになってきている。

近年、再審請求事件が増加しているが、その大半が当時の鑑定に問題点があるというもので、その鑑定を行った当人が死亡しているような場合が多いのでこういった面が弁護士側のもっとも攻撃しやすい領域になっている。今後は、このような再審請求事件はますます増えるものと思われる。こういった場合司法解剖の正確性が問題となるが、司法検視や解剖のなかには、一般に考えられているようなものではなく、かなり杜撰なものが相当にあることは事実である。

演者は東大教授時代から現在までの３０年間の間に、２００件を超える再鑑定を行っているが、いずれも、司法解剖における基礎的な知見の欠如によって生じた問題である。これらについて解説をして見たい。

石山昱夫先生　記

【お礼】　会長　栗原　平会員
　石山昱夫先生、貴重な卓話、大変ありがとうございました。

【点鐘】会長　栗原　平会員

【お　知　ら　せ】

１０月のプログラム

１０月１０日（金）　卓話　米山奨学生
アディナ　アマイテさん
（女、中国、東京電気大学、所沢ＲＣ）

１０月１７日（金）　移動例会　職業奉仕担当
入間地区消防組合　防災館見学
スケジュール１２時１０分　食事
１２時３０分　例会終了
１２時４０分　消防防災の説明
消防指令センターの業務の説明
１２時５０分
防災センターに移動
１３時１０分
訓練の（消防士）の見学

１０月２４日（金）　移動例会にて休会→
１０月２５日（土）に変更　社会奉仕担当
「ふるさと祭り」にバザー出店
午前９時開始～　文化の杜公園内

１０月３１日（金）
大澤第２グループガバナー補佐訪問

例会日　毎週金曜日
時　間　12:30～13:30
事務所　〒354－0022
富士見市山室2－10－10　島田ビル201号
電　話　049－251－6596　FAX049－252－3848
例会場　島田ビル1F
Eメール　fujimi-rc@nifty.ocm

会報・IT委員会
委員長：萩原喜八郎・副委員長　長根章浩
委員：森田仁一　平岡直也　尾崎孝好
松本伸一郎　柳　裕二
吉原孝好　浅見隆広